

「市民の声」に寄せられた意見を紹介します



▲投書箱（設置場所により形が異なります）

市には、市政に対する意見や要望が「市民の声」に多数寄せられています。

意見などは、市長をはじめ、担当職員が目を通し、より良い市政を行っていくための参考にしています。ここでは、いただいた意見などの中から一部を紹介し

ます。
問合先 情報課広聴担当（☎65・2160）



▲市ホームページ内の入力フォーム

西尾市標高マップについて

標高マップにある津波一時待避所の標高は、私の住む一色町では一色高校が一番高く、4・5mとなつています。

東南海地震などが連動すると20m以上の津波の発生が予想されますが、その津波から逃れられる避難場所が、自宅から徒歩で1時間以内に行ける所にはありません。早急に津波よけのやぐらを建てるべきではないでしょうか。自動車での避難は渋滞で津波に巻き込まれる場合もあり、考えていません。

答

内閣府が発表した南海トラフ地震の津波高の想定は、西尾市の佐久島で最大5・1m、本土側沿岸部で3〜5mとされ、心配されている20m以上の津波は太平洋側の外海における想定です。

また、津波の襲来は地震発生後1時間程度と予想され、その間にできるだけ海岸から遠く、高い所への避難をお願いしますが、自動車での避難は一律に制限しておらず、地域の特性によって使用の可否を判断していただきたいと思います。

現時点では、津波よけのやぐら（避難タワーなど）の建設予定はありませんが、津波から緊急的に避難する「津波一時待避所」を一色地区に12か所指定しています。

逃げ遅れそうな場合に迅速に避難できるように、標高マップで確認をお願いします。

※本件回答後に発表された新たな想定では、津波高は佐久島で最大7m（市内の平均は4m）、1mの津波の最短到達時間は地震発生後46分後とされています。（防災課）

愛知こどもの国について

施設廃止の検討がされていると聞きました。私は幼い子ども2人と愛知こどもの国を利用しますが、子どもが一日中楽しめる施設だと感じています。

どうか、子どもたちの遊び場をなくさないでください。貴重な施設だと認識している親はたくさんいます。

答

愛知こどもの国は、昨年、愛知県の行政改革の一環として廃止も視野に入れた見直しの対象となりましたが、市としては、当施設は西三河南部地域で唯一の県有の児童遊園施設であり、児童の健康と情操教育の場として必要不可欠な施設だと認識しています。



愛知こどもの国

県に対しては、昨年8月に市長から知事へ、市民の皆さまから署名をいただいた「愛知こどもの国の存続を求める要望書」を、今年3月には「愛知こどもの国のあり方に関する提案と要望書」を提出し、現在も協議が続いています。市では、県に対して引き続き強く存続の要望を行うとともに、今後多くの方々に、地域の貴重な財産である愛知こどもの国の利用を呼び掛けていきます。（企画政策課）

ごみのポイ捨てに困っています

以前から、家の前の道にごみを捨てられて困っています。お菓子や飲み物のごみ、たばこの吸い殻などが度々捨てられ、片付けていますが、ごみを道に捨てるなど考えられません。本当に不愉快です。

答

「ごみ減量課では「ポイ捨て禁止」、「不法投棄禁止」の看板を希望する町内会に配布していますので、通行者への啓発として設置を希望する場合は、町内会長または衛生委員にご相談ください。不法投棄防止には、地域の皆さまのご協力が必要ですので、町内会にご相談いただき、回覧などで不法投棄の現状について周知徹底を図るのも手段の1つです。

（ごみ減量課）

名鉄西尾・蒲郡線の存続について

名鉄西尾・蒲郡線が存続するか地元住民としては非常に心配です。各鉄道の沿線ハイキングには、多くの方が参加しています。名鉄西尾・蒲郡線存続のため、その沿線でハイキングを開催し、完歩したら記念バッジを進呈するなどしてみたらいかがでしょうか。興味を持つ方は多いと思います。

答

名鉄西尾・蒲郡線の存続に向けたは、各種団体がいろいろな事業を企画・運営しています。沿線のハイキングやウォーキングについても、市（教育委員会）主催のもの、市民団体主催のもの、名鉄主催のものがあります。

ご提案いただいたバッジは、昨年に開催された市民団体主催のウォーキングと、今年に開催された教育委員会主催のウォーキングで完歩賞として配布しています。各団体の財政事情などもあり、全てのイベントでの配布は難しいと考えますが、多くの方々に参加していただけるよう今後も検討していきます。



名鉄蒲郡線

なお、バッジではありませんが、「にしがま線応援団」のキャラクターイラストラップを作成し、利用者に配布することも考えています。今後も存続に向けて努力していきますので、ご協力をお願いします。（交通対策課）

下水道工事後の舗装

昨年、米津町白沢周辺の道路が下水道工事も含め、とてもきれいになりました。

しかし一部で、下水道工事は終わっても、道路がガタガタで穴を埋めただけの所があります。どんな基準できれいに舗装したりしなかったりするのですか。

答

下水道工事後の舗装復旧は、下水道管の埋設部分が多少沈下する場合があります。下水道管を埋設した年度は簡易な仮舗装とし、翌年度に正規の本舗装を行うことを原則としています。予算の制約などにより本舗装が多少遅れる場合もあります。

米津町白沢は下水道管を埋設した年度が複数年度に渡っているため、ご指摘のとおり本舗装が完了している道路と、仮舗装のままになっている道路があります。

仮舗装の道路につきましては、本年度、順次本舗装を行う予定で事務を進めていますので、しばらく

くお待ちください。また、工事の際にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。仮舗装が著しく損傷した場合は、補修しますので、ご一報ください。（下水道整備課）

佐久島のお土産

佐久島を観光し、帰る際に「お土産を」と思ったのですが、土産店が見当たらず、近隣の飲食店に聞いても「お土産はない」との返答でした。佐久島という観光資源を生かすためにも島の名物をお土産として扱ってほしいと思います。

答

現在、佐久島には西地区に土産店が1店舗ありますが、観光客から「土産店が少ない」という声はこれまでも数多くありました。観光客の増加とともに土産への需要は増えていますが、行政が直接、営利目的の土産店を営むことは難しいのが現状です。

佐久島観光協会を介して、土産店の要望が多くある旨を島民に伝えます。意欲のある方に土産店を出店していただければ、佐久島のさらなる活性化につながるものと考えます。

いずれにしても、観光客に満足していただける魅力ある「佐久島」を目指していきます。

（佐久島振興課）

市政に対する意見をお寄せください

市政に対する意見は、公共施設に設置した「市民の声」投書箱へ備え付けの専用紙で投かんするか、市ホームページの「市民の声」入力フォームから送信してください。また、郵送（〒445-8501/住所不要）やファクス（FAX57・1313）で寄せられる市政に対する意見も「市民の声」として受け付ける場合があります。

投書箱設置場所 市役所行政情報コーナー（西玄関隣）、各支所、総合福祉センター、西尾市保健センター、西尾勤労会館、佐久島東渡船場、青年の家、文化会館、西尾市立図書館、寺津・米津・福地・西野町・八ツ面・鶴城・室場・三和の各ふれあいセンター、一色町・吉良町・幡豆の各公民館

「市民の声」の中から参考意見などを公開しています

多く寄せられる意見の中で代表的なものや市政運営の参考となる意見などの要旨を、回答と併せて公開しています。市ホームページや、市役所行政情報コーナーと各支所で閲覧できます。